

| | | |
|--------|------------------------|---------------------|
| 定例会議資料 | 令和3年4～6月における苦情受理状況について | 令和3年9月1日 県民支援相談課 |
|--------|------------------------|---------------------|

1 概況

| | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 平成31年 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 |
|----------|-------|-------|-------|---------------|------|------|
| 4 - 6月件数 | 28 | 27 | 16 | 20 | 16 | 10 |
| 年間件数 | 94 | 65 | 74 | 56 | 41 | - |

2 所属別

| | 本 部 | 高 知 | 高 知 南 | 高 知 東 | 室 戸 | 安 芸 | 南 国 | 土 佐 | 佐 川 | 須 崎 | 窪 川 | 中 村 | 宿 毛 | 合 計 |
|------------|--------|--------|-------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 令和3年4 - 6月 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 10 |
| 令和2年4 - 6月 | 2 | 2 | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 16 |

3 部門別

| | 地域 | 生活安全 | 刑事 | 交通 | その他 | 合 計 |
|------------|------|------|------|------|------|-------|
| 令和3年4 - 6月 | 4(1) | 0(0) | 0(0) | 2(0) | 4(0) | 10(1) |
| 令和2年4 - 6月 | 3(0) | 1(0) | 2(0) | 5(1) | 5(0) | 16(1) |

()内は「非のある苦情」件数

4 態様別

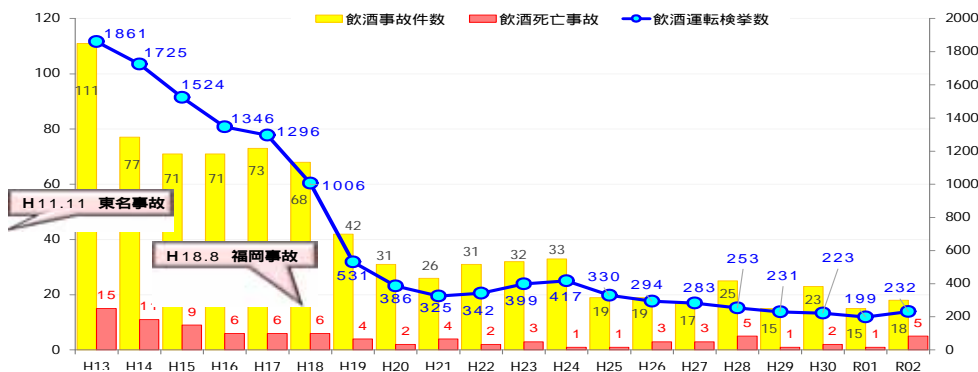
| | 執務の態様に関する苦情 | 言動に関する苦情 | 運転に関する苦情 | 合 計 |
|------------|-------------|----------|----------|-------|
| 令和3年4 - 6月 | 3(1) | 6(0) | 1(0) | 10(1) |
| 令和2年4 - 6月 | 9(1) | 7(0) | 0(0) | 16(1) |

()内は「非のある苦情」件数

5 非のある苦情の概要

パトロール中の警察官の活動に関する苦情

1 飲酒運転厳罰化と本県における飲酒運転の交通事故・取締りの推移



- H13.12.25 危険運転致死傷罪新設 改正刑法が成立・施行
- H14.6.1 飲酒運転厳罰化の改正道交法が施行
- H16.11.1 飲酒検知拒否を厳罰化する改正道交法が施行
- H19.9.19 飲酒運転及び助長行為を厳罰化する改正道交法が施行
- H21.6.1 酒酔い・酒気帯び運転等の行政処分を厳罰化する改正道交法が施行
- H26.5.20 自動車運転死傷行為処罰法が施行

2 現状

厳罰化等の効果により全般的に飲酒運転は減少傾向にあるが、依然として飲酒運転による交通事故は過去5年間で年間20件ペースで発生している。

近年、飲酒事故件数は多少の増減を繰り返し、検挙件数はほぼ横ばいであることから、一定数の運転者はいまだ飲酒運転を敢行している実態がうかがわれる。

3 課題

厳罰化を意に介さない遵法精神の低い者が相当数いる。

検挙件数が横ばい状態で増加していないことを考えると、従来取締り方法では、検挙が難しくなっている。

検問は、飲酒運転の抑止効果が期待されるものの、検挙効率や潜在化している常習者の取締り面で考えると、他の効果的な手法を模索する必要がある。

4 対策

- 過去の検挙事例や飲酒情報等の分析による取締り
- 飲酒場所や駐車場所、走行経路、時間帯などの捜査

5 第1回飲酒運転取締強化旬間

(1) 期間

令和3年8月13日（金）から同年8月22日（日）までの10日間

(2) 延べ取締人員

614人

(3) 取締結果

酒気帯び運転 6件（安芸2、南国1、南1、宿毛2）

| | | |
|---|---------------------|------------------|
| 定例会議資料 | 第75期短期初任科卒業式の挙行について | 令和3年9月1日 警察学校 |
| <p>1 日時・場所 令和3年9月28日(火)午前10時～ 警察学校体育館</p> <p>2 式典等の流れ</p> <p>(1) 卒業式 ・開式のことば・国歌斉唱・卒業証書授与・本部長賞授与・学校長賞授与 ・学校長式辞・辞令交付・本部長訓示・公安委員会委員祝辞・記念品贈呈 ・卒業生答辞・校歌斉唱・閉式のことば</p> <p>(2) 卒業生出発式 本館正面玄関前で実施(雨天時は体育館で実施)</p> <p>(3) 記念撮影 学校長以下で運動場において撮影(雨天時は道場で撮影)</p> <p>3 来賓及び出席者</p> <p>(1) 来賓 高知県公安委員会委員</p> <p>(2) 部内 本部長、各部長、学校長等</p> <p>(3) 保護者等 30名程度</p> <p>4 卒業生</p> <p>(1) 学生数 11名(男性9名・女性2名)</p> <p>(2) 年齢 平均年齢 23.7歳 最高年齢 28歳 (年齢は卒業時)</p> <p>(3) 出身地の県内外別 県内 8名 県外 3名(広島1名、岡山1名、愛媛1名)</p> <p>5 その他 新型コロナウイルスの感染状況により、出席者が変更となる場合があります。</p> | | |